

Weekly Report



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：稲葉 徹
幹事：大嶽 達郎
クラブ広報委員長：鈴木 健司
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3/AMMNATビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1807回例会

～経済と地域社会の発展月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年10月19日(木) 雨 第15回

司 会：鈴木淑久会場委員長
斉 唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」
ゲ ス ト：米山奨学生 金瑩さん

会長挨拶

稲葉徹会長



皆さんこんにちは。10月は、ロータリーの6つの重点分野のうち「経済と地域社会の発展月間」であるとともに、日本独自のものとして「米山月間」でもあります。

「経済と地域社会の発展月間」は「ロータリー情報ハンドブック」(2017年版)によれば、2014年10月のRI理事会で取り入れられたもので、奉仕の重要性を認識し、クラブだけでなく、ロータリアン1人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため指定された特別月間です。貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人の奨学金支援を強調する月間である、とされています。

また、「米山月間」は日本独自の特別月間です。10月には、米山奨学事業の意義を深く認識するとともに寄付金を募る活動を推奨されているわけです。米山奨学事業については、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。ちなみに当クラブでは、米山奨学生、金瑩(きんえい)さんを支援し、月1回例会に出席していただき、年1回卓話をしていただく予定です。米山奨学生は、2017年度では、ロータリー日本国内全地区で793人であり、第2760地区では49人と第2650地区の52人に次いで二番目となっています。なお、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の理事として、当クラブの近藤雄亮会員が入っておられます。

ロータリー米山記念奨学会の歴史についてふれておきますと、日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業をたちあげたいと、東京RCが1952年に発表したのがその始まりでした。海外からの優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。その後、1967年には「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立され、2012年には「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となって現在に至っています。(詳細は「ロータリーの友」10月号P7-P13参照)

最後に、寄付金についてですが、「普通寄付金」と「特別寄付金」があります。普通寄付金はロータリアンからの定期寄付でクラブで決定した金額×会員数分を半期に一度送金するものです。当クラブでは、上期、下期に2,000円で年間4,000円です。特別寄付金は、個人、法人、クラブからの普通寄付以外の任意寄付で金額に決まりはなく、ロータリアン以外からの寄付もできます。この寄付金は、税制上の優遇措置が、所得税(個人)、法人税(法人)、相続税において税制優遇(所得控除又は税額控除等)が受けられますので、是非会員の皆さんには、この月間の趣旨に賛同いただければ寄付をお願いする次第です。

新会員入会式

新会員入会式にてバッジとネームプレートが新会員に渡されました。バッジはロータリアンの誇りと奉仕をさせて頂く謙虚な気持ちをもつことの証です。名札は会員、ビジター、ゲストの皆さんに名前を覚えて頂くのに役立ちます。



牧野智繁さん
東海東京証券 支店長
職業分類：証券業

ご紹介にあずかりました牧野と申します。名古屋に来て二年半ですが半年前までは名古屋中ロータリーの方でお世話になっておりました。好意と友情を大事にしながら、よく遊び、よく学び、よく奉仕したいと考えております。

ニコボックス

中野健二委員

- 鈴木淑久さん、村上学さん、星野一郎さん、村瀬俊高さん大変お世話になりました。おかげ様で楽しい時を過ごすことができました。今日のクラブ討論会宜しく願いいたします。 近藤 雄亮さん
- 10月13日は結婚式記念日でした。 入江 理さん
- 妻の誕生日にお花ありがとうございました。 長谷川 隆さん
- 昨日、野球2三振でしたスママセン!! 湯澤 信雄さん
- 昨日の野球試合は残念ながら敗けてしまいました。選手諸君の健闘をたたえたいと思います 野崎 洋二さん
- みなさんご無沙汰です。久しぶりの例会出席です。これからは出席できるようにガンバります。 泉 憲一さん
- 4週間ぶりのロータリーです。 松波 恒彦さん
- 10月11日に、7人目の孫が誕生しました。4,300gの大きな男の子でした。 伊藤 豪さん
- 牧野さん、入会を歓迎いたします。会員増強及び維持委員会の長瀬さん、湯澤信雄さん、鈴木実さん、委員会代表です。よろしくお祈りします。 関谷 俊征さん
- 昨日の野球お疲れ様でした。 鳥山 政明さん
- 昨日は、野球部の皆様おつかれ様でした。次はがんばりましょう。 鈴木 淑久さん
- 先週4RCゴルフコンペが終わり3連覇できました。そして昨日野球の試合がおこなわれましたが12対4で負けてしまいました!反省です。 鈴木 実さん
- 10月13日、4RC親睦ゴルフコンペではクラブとし3連覇。昨日は野球とスポーツの秋を満喫しています。次の機会には戦力になれるよう練習しておきます。森さん、かぼちゃ、ありがとうございます。 田中 宏さん

出席報告

中野健二委員

会員65名 出席43名 (出席計算人数49名)

出席率 75.4% 10月14日は補填により100%

幹事報告

大嶽達郎幹事

- 本日10月19日(木)に13:40から第4回理事会をヒルトン名古屋4F「竹園の間」にて行います。
- 会員の酒井俊光さんの会社名が変更になりました。「株式会社サカイホールディングス」です。住所、TEL、FAXは変わりませんがメールアドレスが変わりました。後ほど事務局からご連絡します。

10月誕生日おめでとう

大嶽達郎幹事

長谷川 隆さん 梅村 昌孝さん 鈴木 実さん

ベネファクター認証

稲葉 徹さん 大嶽 達郎さん

第4回マルチプル米山功労者表彰

稲葉 徹さん

クラブ討論会

近藤雄亮長期ビジョン委員長

多様性を考慮した会員増強のために

RCも組織である以上、どうしても会員を増やす事や、減らないようにする事、あるいは会員の皆様を少しでも色んな知識が増えるようにするという努力が必然だと思っています。最近特に言われておりますのは、もっと多様性のあるような、フレキシブルな会員増強をやっていたらどうかという事です。昨年から長期ビジョン委員長として務めていますが、委員会の一つのテーマとしてこのクラブにはどれくらいの人数がいれば適正なのかという事を議論しました。最終的に80人以上必要だという事を会長に答申させていただきました。その理由は、巨体を遂げていく為にしっかりと組織を作っていくかなければならない。そして組織を作る以上、組織に見合った最低の人数が必要だからです。それから時々話題にもなりますが、クラブ運営の奉仕活動の予算をスムーズに執行するためにも80人という人数が必要ではないかと答申させていただきました。資料にも書きましたが、以前は業種・年齢・性別・宗教等を越えた仲間を作っていくということが基本でしたが、最近はそのに加え、退去したけれども奉仕に非常に意欲的な人、または社会的にも認められた人、そして子どもの世話又は配偶者の仕事を手伝う為に仕事をしていない方でもそういう意識がある方は仲間に入れてはどうかとされています。

昨年の時点では、二重会員はRCでは基本的に認められておりませんでした。ローターアクトに限っては二重会員を認めるという事にしました。それから法人会員・家族会員・皆様の配偶者に入って頂く事も進めております。このように内容が変わってきています。ちなみに調べたところ、名古屋瑞穂RCは1980年1月に設立され、そのスタートのチャーターメンバーというのが34名でした。1986年に地区が長野と愛知で分かれました。その時は名古屋瑞穂RCは出来ていましたが、当時の名古屋瑞穂RCのメンバーが76名、地区としては4735名いました。名古屋瑞穂RCの最高のメンバー数は、1996年の104名です。地区としては6453名で、非常に多い会員数を持っておりました。現在は4776名で、名古屋瑞穂RCは64名です。こういった水準を見ますと、先程も申し上げましたように最低色んな事をやるためには80人は必要だということで、今日皆様のご意見をベースに考えていきたいと思っています。今日は単なる討論会で、賛否を取って結論を出すわけではないので、どういものが妨げになっているのか、それを乗り越える為にはどんなことをやっていったらいいのかということなど、意見を出して頂きたいと思っています。2020年は40周年にあたるわけで、できれば区切りに向けて皆さんの力を結束していきたいと思っています。宜しくお願ひ致します。

長瀬憲八郎さん

私は安易に女性を入れるのは反対です。自分の友人・知人・顧客等がよく知っている人、この人なら名古屋瑞穂RCに入れてもいいなと思える人を勧誘すべきだと思います。私も名古屋瑞穂RCに30年程所属し、厳選して3人程しか推薦していません。名前だけで入れてしまうと、入ったはいいがすぐに辞めてしまう人は困るので、この人ならという確信を持って勧誘すべきだと思います。

鈴木 淑久さん

今の長瀬さんの女性のことも含め、周りの人を推薦するというのも僕も良いと思います。僕もRCに入って10年目ですが、RCというのはすごく壁が高く格式高いという認識があり、そこに入るということはファミリーのように一生の付き合いをしていく、それぐらい大事な事だと思っています。私も今44歳で、近所の後輩とか次期社長の子たちがいて、誘えば来ると思いますが、タイミングやそれぞれの商売の状況を見て誘わないといけません。2、3年前には1年間に12人入会させたが、結局11人辞めたという話があり、そのような人は今後RCへの入会が難しくなっています。僕が入ってから、名古屋瑞穂RCの新入会員で辞められた方は1人です。後は誰も辞めていないと言うことは、会員の周りの先輩含め、仲間の優しい気持ちが続いているのかなと思います。私自身、小串和夫さんの紹介で入会させていただいたのですが、それぞれにあったRCの付き合い方があると思っています。周りの先輩達の経験を吸収すれば今後の為になるかなと思っています。また、長谷川隆さんの場合は60歳を過ぎて入会され、非常に大きな病院でも頑張られています。医師ばかりの付き合いではなく、色んな業種の友達がいると幸せな最期を迎えられると思います。

湯澤 信雄さん

鈴木くんが発言したように今名古屋瑞穂RCはとてもいい雰囲気なので、厳選して勧誘するのが大事だと思います。先程友人を誘ったらいいんじゃないか

という話がありましたが、我々の友人だといふ歳なので、今考えているのは、よく知っている友人の子どもたちが40代ぐらいで適齢ではないかと思います。

鈴木 実さん

私が入会して2年程経ちますが、やはり私の周りにも若手のやり手経営者の方が多く見えますが、私自身もRCの中身について勉強できていませんので、もう少し皆様と一緒に勉強させて頂きたいです。自分達と同じサービス業が非常に少なく、また世界観の狭い業界がかなり多いので、RCの話をして身を引きような話しか返ってこない状況です。その中で私は2年半前に入会し、現在はだいぶ慣れてきましたが、今もまだ緊張どころか迷惑をかける事が多いのですが、これから同業者以外の同郷のなかで、時間がきたらお薦めしたいと思いますが、そして、指示されて連れてくるというよりも自分が楽しんで誘うということが大事だと思います。

山口 哲司さん

RCに入るという事と、名古屋瑞穂RCに入るという事は必ずしも一緒ではないと思います。本当にRC活動をしていいという人はなかなか少ない。やはり余裕がないとできない活動ですから、若い子は仕事しないといけませんし、昼間に時間を取れるのかというのは難しい問題です。そうなる程度余裕がある年代でないとRCというものの自体になかなか入れない。そしてその中で名古屋瑞穂RCを選んでもらうには、名古屋瑞穂RCの魅力とは何なのかという所を作り、個性的なクラブにしていかなければ存在意義が薄くなっていくと思います。その為に女性を入れるかどうかというのは別で、女性をいれると、クラブにとって良い部分悪い部分がありますから、名古屋瑞穂RCを魅力的な所にしていくのが課題だと思いますし、それが解ってくれば勧誘関係もスムーズになる。名古屋瑞穂クラブ独自の特徴を備える事が大切だと思います。

田中 宏さん

私自身クラブの中に知り合いの方がお見えになられて、業界の先輩もいらっしゃる。声をかけられたのは光栄に思いますし、今までの付き合いがあつてからこそだと思います。そういう意味で人と人の繋がりが次の世代へ繋がっていく部分が大いだと思います。RC特有のしきたりですとか例会に必要なお金等、その辺りを伝えるのが最初の段階でできていけば比較的来やすいと思います。時間的な問題、お金の問題は次の問題になってきますが、やはり人と人の繋がりの部分、こそぞという時にこそぞという人を誘うのがベターかなと思います。

野崎 洋二さん

会員増強の問題は昔から付いて回る問題なんですね。RIとしてはとにかく会員増強・資金が入ればという事が本望で、それが年々からさまになり、形が変わってきています。私はRIそのものを問題視してしまっていて、先程から意見がありますように、会員が増えるということは必要な事ですし、80人前後がベターだということで、それに向かって皆で努力していくべきだと思います。しかしだかと言って無理に入れるのは反対です。周りでこういう方は是非という方の推薦は続けていて、会員一人一人が続ければ、私は不可能ではないと思います。無理をして増やすのは必要ではないと思います。先程お話があったように会社を退職された方の次に着任される方を勧誘することが大事だと思います。また、JCのOBがたくさんいらっしゃると思いますが、やはりJC関連の方はRCに共通する部分がありますので、現役のJCの方をピックアップするようにと一番強く感じています。

婦人会員のクラブに関しては徹底的に反対です。なぜかという、婦人がいらっしゃるクラブをみると、雰囲気的に伸びていないのがわかります。やはり遠慮もあるだろうし、このようなクラブに婦人が入ると意気消沈してしまう。婦人は婦人だけの組織がいくつかあるので、そういった所に入られるのが良いと思います。

近藤雄亮長期ビジョン委員長

名古屋瑞穂RC独自の特長を出していくことが重要であり、こういう方針だということを示すが大切です。私としては何でもカットして減らすのはどうかと考えます。人数は予算執行や組織を考えるとやはりもう少し必要だと思います。どうもご協力ありがとうございました。

例会のご案内

■今週の行事 10月26日(木)

テ - マ: 男のアンチエイジング・今からでも間に合う健康法

卓 話 者: ラベールミラクリニック院長 新井根洋さん

■次週の卓話 11月2日(木)

テ - マ: ロータリー財団 次の100年に向けて

卓 話 者: 地区R財団副委員長 中林正人さん

■次々週

11月9日(木) 振替により例会変更